

10月18日(月)～24日(日)は
行政相談週間です

秘書広報室 内線246・247

■行政相談委員はあなたの身近な相談相手

身の回りで何か困っていることはありませんか。

全国の市区町村には、総務大臣から委嘱された「行政相談委員」が、約5,000人配置されています。委員は地域の身近なところで定期的に、皆さんからのご相談を受け付けています。

道路、年金、役所の窓口対応など、国の行政に対するどのようなことでも結構です。また、相談は無料で秘密は固く守られます。「どうせ苦情を言っても国のことだから変わらない・・・」と、あきらめないで、お気軽にご相談ください。

■湯河原町の行政相談委員のお二人です



かみなが しげる
神永 繁さん
☎(62)5094



きだしげお
貴田 茂男さん
☎(62)5785

毎月10日（宮下会館）と20日（文化福祉会館）の13:00から16:00まで、行政相談委員、民生委員、人権擁護委員が「心配ごと行政相談」を行っています。

■神奈川県内での改善事例のご紹介

相談

国道の路面に凸凹^{でこぼこ}があって、ひび割れているところがあり、二輪車が通行すると転倒の危険があるので改善して欲しい。

解決

行政相談委員が実際に二輪車で通行したところ、ハンドルを取られそうになったため、神奈川行政評価事務所に連絡。県の道路事務所に照会し、早急に補修工事が実施されました。

ありがとうございました
湯河原町への寄附・寄贈

秘書広報室 内線247

■8月31日(火) 株式会社マスコー様

株式会社マスコー様（丸塚^{まるづか}勉代表取締役）から、湯河原町梅基金に6万4,260円のご寄附をいただきました。

同社では、湯河原限定の本醸造生貯蔵酒「花さがみ」の発売を機に、昨年の11月、湯河原の花及び自然環境の保全に役立てるための「花さがみ基金」を立ち上げ、売り上げ1本あたり30円を同基金に積み立ててきました。

寄附金を届けてくださった丸塚^{まるづか}正子専務は、「町内の旅館や飲食店の皆さんにご協力をいただいて、基金が増え、町の事業に役立てていけるよう努めていきたい。」とおっしゃっていました。



■9月3日(金)

社団法人小田原青色申告会湯河原支部様

社団法人小田原青色申告会湯河原支部様（小澤^{おざわ}輝男支部長）から、各小学校に30万円ずつのご寄附と、湯河原町に血圧計1台、自動体外式除細動器（AED）1台を寄贈していただきました。

これは、「2010年国民読書年」に当たり、町が実施している「セカンドブック」事業の推進を支援し、また、町民の皆さんの健康維持に役立ててもらいたいといただいたものです。

町では、各小学校の図書室に「青色申告会湯河原支部図書コーナー」を開設し、血圧計は住民課窓口へ、AEDは11月にオープンした「湯河原町民体育館」に設置し、活用させていただきます。

